

家康公の

# ねがい【願】



静岡市駿河区

家康公の平和への願い、国づくりの想いにふれる 静岡市駿河区


家康公を祀る久能山東照宮には、国づくりの想いやメッセージが隠されているという。「拝殿の正面上部(<sup>かえるまた</sup>臺股)に3つの彫刻があります



よね。中央の『司馬温公の瓶割り』は、司馬温公が水瓶の中に落ちた友を助けるために大切な水瓶を割ったという逸話が題材で、『生命の尊さ』が込められています。家康公の最も大切なメッセージといえますね。国民一人ひとりの命を大切に平和な国を築くという、家康公の考えを表しています」と久能山東照宮宮司の落合<sup>ひでに</sup>偉洲さんが教えてくれた。右側の「三賢人と瓢箪の水」は教育の必要性を重んじた家康公の考えを、左側の「瓢箪から駒」は常に実直に謙虚に、という教えを表している。

久能山東照宮に残された家康公ゆかりの品々にも平和への想いを見ることができる。「家康公は駿府城で花火を楽しんだといわれ、火薬を兵器ではなく平和なものに転換させたのは大きな功績でしょう。久能山東照宮にも火縄銃が残されていますが、これも平和の象徴でもあると思います」。

**N** 2010(平成22)年 国宝に指定された絢爛豪華な建築美  
久能山東照宮

**Note** 静岡市駿河区根古屋390 ☎054-237-2438 <http://www.toshogu.or.jp>  
拝観料 / 大人500円、小・中学生200円 参拝時間 / 9:00~17:00(10~3月は16:00まで)  
参拝ルート / 久能山下から徒歩または日本平山頂より日本平ロープウェイ(5分)を利用  
 東名高速 静岡ICより約30分

「日本中に東照宮は数多くありますが、家康公を最初に祀った原点ともいへべき場所が久能山東照宮です」と語る落合宮司。家康公は自らを久能山に埋葬するようにと遺言を残している。1616(元和2)年4月17日、駿府城内で他界すると、その日のうちに久能山に埋葬された。同年5月、二代将軍秀忠公の命によって久能山東照宮が着工され、翌年12月には社殿が完成している。社殿・拝殿・右の間は国宝に指定された。



1. 権現造(こんげんづくり)の社殿は、江戸時代を代表する大工頭、中井大和守正清(なかいやまとのかみまさきよ)が手掛けたもの。2. 拝殿の正面上部(臺股)に施された3つの彫刻。「司馬温公の瓶割り」(中央)、「三賢人と瓢箪」(右)、「瓢箪から駒」(左)。3. 家康公の愛馬を飼育するために建てられた厩舎。名工、左甚五郎の手による愛馬そっくりの彫刻馬がある。4. 家康公の遺骸が埋葬された場所に建つ。神厩(しんきゅう) 5. 山下にある石鳥居から数えて1159段ある表参道石段。ここからの眺望はすばらしい。6. スペイン国王より家康公に寄贈された洋時計で、日本最古の西洋時計。